

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co., Ltd. 22/Apr/2013/vol.243

タイ産・デンファアーレの農薬管理 *Dendrobium phalaenopsis* (Edible flower)

現在、愛知県豊橋の稲垣氏の出荷している食用花のデンファアーレは、花としては極めて珍しく食用を目的とした輸入食品としてタイから輸入され日本で検疫を受けています。その為に輸入時の動物検疫、残留農薬などのモニタリング検査を受け、安全が確認され国内でパッケージされて販売されています。栽培地であるタイの現地圃場管理も厳重で圃場の前面に防虫網を張り巡らせて飛来する虫を防ぎ、また栽培用の鉢も全て地面から高さ 1m 程ある棚の上

に並べられ土を使わずに大鑑庫の培地で栽培されています。できる限り農薬を使用せずに安全安心な食用花の栽培を目指しての取り組みです。しかし、今年の初めに定期的に行っている残留農薬自主検査の時に一部の殺虫剤系の農薬の数値が、日本の安全ギリギリまで上がっていました。慌てて出荷を停止し商品を破棄し、早速現地との打ち合わせを行い問題点を分析しました。その後も販売はせずにデンファアーレを輸入し続けて一回に 10 万円以上も経費のかかる検査を続けました。二回目の検査ですでに十分な安全な数値に下がり販売が可能でしたが、最終的に稲垣氏は現地に直接乗り込み圃場施設の確認と農薬の指導に行き、安全を確認して 2 月の出荷停止以来 2 ヶ月の期間を掛けて安全確認を行い、出荷の再開にこぎつけました。海外では、ディスプレイとしてデンファアーレがお皿に添えられる事があっても日本のデンファアーレの様に安心して食べる事のできるデンファアーレは殆ど無いでしょう。現地のタイでも食用のデンファアーレを栽培し販売している事は非常に珍しいようですが、愛知県豊橋のプチフローラ稲垣氏のデンファアーレは、安心して食べる事もお皿に飾る事もできるデンファアーレなのです。